

生涯学習の実態と意識 ～静大生対象のアンケート調査から～

静岡大学 教育学部

小林亮介 葉室世里奈 藤木裕介 宗信徳志

調査目的

- 静岡大学の学生の生涯学習について、関心やイメージ、意識の実態を調べる
- 生涯学習に関して意識が高い人を探る

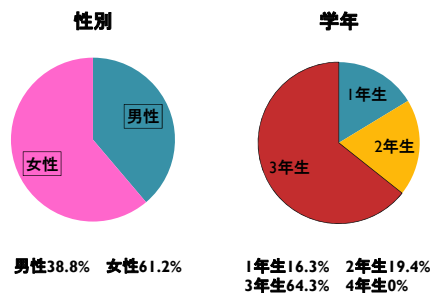
2

調査方法

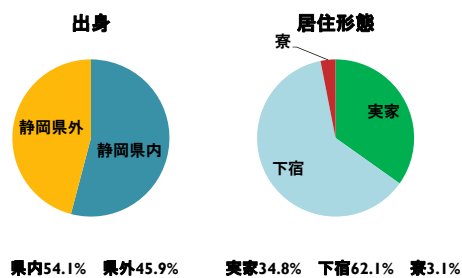
- 生涯学習に関するアンケートを静岡大学の学生に配布し、そこで回答してもらい、その場で回収した
(調査人数98人 回収率100%)

3

回答者の属性

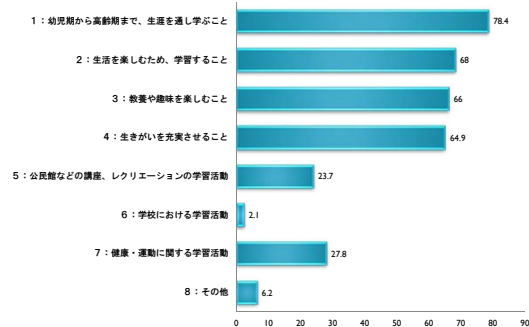


4



5

生涯学習のイメージ



6

生涯学習センター（公民館）のイメージ

＜特に高い項目＞

- いろんな講座へ参加できる
- 地域の歴史がわかる
- 講座が高齢者向けである
- いろんなことを学べる
- 初めてでは利用しづらい
- 地域の情報を知ることができる

7

生涯学習についての関心度

＜関心度が特に高い項目＞

- スポーツや健康等、体を動かす活動
- 芸術・趣味に関する活動
- 職業・資格に関する活動

＜関心度が低い項目＞

- 男女共同参画の学習
- 市政や地域の課題についての学習
- 生涯学習センター等の講座への参加

8

学習・活動に関して

1年以内に地域の
イベントに参加したか



はい61.9% いいえ38.1%

生涯学習センターの講座に
参加したことがあるか



はい15.5% いいえ84.5%

9

その他：アンケート調査からわかったこと

- 生涯学習を意識している学生は多く、ボランティアや地域のイベントに参加している割合が高い
- その一方で生涯学習センター等の講座に参加したことがある学生は、少数である

⇒生涯学習センターの認識を高めることが、必要ではないか

10

アンケート分析結果

表1

クロス表					
		学校以外の学習		合計	
		はい	いいえ		
性別	男性	度数	13	23	36
		性別の%	36.10%	63.90%	100.00%
	女性	度数	37	23	60
		性別の%	61.70%	38.30%	100.00%
合計	度数	50	46	96	
	性別の%	52.10%	47.90%	100.00%	

P<.01

表2

クロス表					
		学校以外の学習		合計	
		はい	いいえ		
バイト	している	度数	48	32	80
		バイトの%	60.00%	40.00%	100.00%
	していない	度数	2	14	16
		バイトの%	12.50%	87.50%	100.00%
合計	度数	50	46	96	
	バイトの%	52.10%	47.90%	100.00%	

P<.01

11

表3

		クロス表					合計
		生涯学習					
学校以外の 学習	はい	学習の意欲				合計	
		非常に興味 がある	どちらかとい えば興味 がある	どちらかとい えば関心 がない	関心がない		
	度数	6	22	11	11		
	学校以外の 学習の%	12.00%	44.00%	22.00%	22.00%	100.00%	
いいえ	度数	3	11	22	10		
	学校以外の 学習の%	6.50%	23.90%	47.80%	21.70%	100.00%	
合計	度数	9	33	33	21		
	学校以外の 学習の%	9.40%	34.40%	34.40%	21.90%	100.00%	

P<.05

表4

		クロス表					合計
		職業文化の学習					
学校以外の 学習	はい	度数	非常に興味 がある	どちらかか と い え ば 関 心 が あ る	どちらかか と い え ば 関 心 が な い	関心がない	
	いいえ	度数	非常に興味 がある	どちらかか と い え ば 関 心 が あ る	どちらかか と い え ば 関 心 が な い	関心がない	
合計	度数	3	36	4	9		
	学校以外の 学習の%	6.00%	72.00%	8.00%	14.00%	100.00%	
	度数	4	11	23	8		
	学校以外の 学習の%	8.70%	23.90%	50.00%	17.40%	100.00%	
合計	度数	7	47	27	15		
	学校以外の 学習の%	7.30%	49.00%	28.10%	15.60%	100.00%	

P<.001

12

表5

		1年以内に地域のイベントに参加		合計
		はい	いいえ	
学校以外の学習	はい	度数 38	12	50
		76.00%	24.00%	100.00%
	いいえ	度数 21	25	46
		45.70%	54.30%	100.00%
合計	度数	59	37	96
	学校以外の学習の%	61.50%	38.50%	100.00%

P<.001

13

表6

		講座に参加		合計
		該当する	該当しない	
出身地	静岡県内	20	33	53
	出身地の%	37.70%	62.30%	100.00%
静岡県外	度数	9	41	44
	出身地の%	6.80%	93.20%	100.00%
合計	度数	29	74	97
	出身地の%	23.70%	76.30%	100.00%

P<.001

表7

		講座参加				合計
		非常に興味がある	どちらからかといえば興味がある	どちらからかといえば関心がない	関心がない	
出身地	静岡県内	10	10	13	12	53
	出身地の%	18.90%	30.20%	28.30%	22.60%	100.00%
静岡県外	度数	0	17	10	9	44
	出身地の%	0.00%	38.60%	40.90%	20.50%	100.00%
合計	度数	10	27	23	21	97
	出身地の%	10.30%	34.00%	34.00%	21.60%	100.00%

P<.001

14

考察・まとめ

- ・学生は生涯学習は大事だという認識はある

⇒しかしあくまで個人的な事柄で止まっている

- ・学生は生涯学習センターが利用者の意見・要望で変わるとは思っていない

⇒広報活動をきちんと行って認識のズレを直す必要があるのではないか

15

生涯学習に関するアンケート

総合科学教育課程 消費生活科学専攻

3年 30916104 小林 亮介

大学生の生涯学習に関する調査を行っております。なお、本調査で入手したデータは統計処理のみに利用するため個人情報外部に流出することはありません。ご協力をお願いいたします。 **N=98**

以下当てはまる番号に○を、空欄に適切な数字や言葉をご記入ください。

■あなたご自身についてお聞きします。

- (1) あなたの性別を教えてください。 1 : 男性 **38.8** 2 : 女性 **61.2**
- (2) あなたの学年を教えてください。 1年生 **16.3** 2年生 **19.4** 3年生 **64.3**
- (3) あなたの学部を教えてください。(人文 **11.2** 教育 **73.5** 農 **3.1** 理学部 **12.2**)
- (4) あなたの出身地を教えてください。(静岡県内 **54.1** 静岡県外 **45.9**)
- (5) 居住形態を教えてください。 1 : 実家 **34.9** 2 : 下宿 **62.2** 3 : 寮 **3.1**
- (6) あなたはバイトをしていますか。 1 : はい **81.6** 2 : いいえ **18.4**
- (7) あなたは部活、サークルをしていますか。 1 : はい **76.5** 2 : いいえ **23.5**

■あなたの生涯学習の実態についてお聞きします。

問1 あなたは現在、学校以外で学習活動を行っていますか。
(社会人サークル、スポーツ、習い事等)

1 : はい **52.1** 2 : いいえ **47.9**

問2 問1ではいとお答えした方にお聞きします。

どのような学習活動をしていますか。 あてはまるものすべてに○をつけてください

- 1 : 健康、スポーツに関すること 16 2 : 趣味、お稽古に関すること 8
3 : 職、資格に関すること 8 4 : 一般教養に関すること 8
5 : 安全、防災に関すること 0 6 : その他 0

問3 あなたは、ボランティアに参加したことがありますか。

- 1 : はい 72.2 2 : いいえ 27.8

問4 あなたは、1年以内で地域のイベントに参加しましたか。(祭り、スポーツ大会等)

- 1 : はい 61.9 2 : いいえ 38.1

問5 あなたは、生涯学習センター等の講座に参加したことがありますか。

- 1 : はい 15.5 2 : いいえ 84.5

問6 あなたは、社会教育施設(図書館、生涯学習センター等、学校を除く)を 1年以内に利用しましたか。

- 1 : はい 77.3 2 : いいえ 22.7

問7 問6ではいとお答えした方にお聞きします。

どのような施設を利用しましたか。 あてはまるものすべてに○をつけてください

- 1 : 生涯学習センター、まちづくりセンター 26.7 2 : 図書館 86.7 3 : 体育館 25.3
4 : 運動公園 20 5 : 博物館、美術館等 46.7 6 : その他 6.7

裏面に続きます

問8 生涯学習のイメージについてお聞きします。あなたは、どのようなイメージをもっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 : 幼児期から高齢期まで、生涯を通し学ぶこと 78.4
- 2 : 生活を楽しむため、学習すること 68
- 3 : 教養や趣味を楽しむこと 66
- 4 : 生きがいを充実させること 64.9
- 5 : 公民館などの講座、レクリエーションの学習活動 23.7
- 6 : 学校における学習活動 2.1
- 7 : 健康・運動に関する学習活動 27.8
- 8 : その他 6.2

■あなたの生涯学習・社会教育についての関心度をお聞きします。
それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

- 1 : 非常に関心がある
- 2 : どちらかといえば関心がある
- 3 : どちらかといえば関心がない
- 4 : 関心がない

① スポーツや健康等、体を動かす活動	1・37.1	2・44.3	3・10.3	4・8.2
② 家庭教育・子育ての学習活動	1・34.0	2・37.1	3・26.8	4・2.1
③ ボランティア等の社会貢献活動	1・20.6	2・41.2	3・29.9	4・8.2
④ 生涯学習センター等の講座への参加	1・10.3	2・34.0	3・34.0	4・21.6
⑤ 郷土の歴史・文化の学習活動	1・7.2	2・49.5	3・27.8	4・15.5
⑥ 生活（衣・食・住）の学習	1・23.7	2・51.5	3・17.5	4・7.2
⑦ 芸術・趣味の学習活動	1・46.4	2・29.9	3・10.3	4・13.9
⑧ 職業・資格に関する学習	1・29.9	2・44.3	3・20.6	4・5.2
⑨ 安全・防災に関する学習	1・10.3	2・46.4	3・38.1	4・5.2
⑩ 男女共同参画の学習・活動	1・5.2	2・32.0	3・39.2	4・23.7
⑪ 市政や地域の課題についての学習	1・11.3	2・26.8	3・35.1	4・26.8

■生涯学習センター（公民館）についてのイメージについてお聞きします。

生涯学習センターについてどのようなイメージを持っていますか。

それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

- 1：とてもそう思う
2：ある程度そう思う
3：あまりそう思わない
4：まったくそう思わない

① いろいろな人と交流できる	<u>1・30.9</u>	<u>2・27.8</u>	<u>3・38.1</u>	<u>4・3.1</u>
② いろいろなことを学ぶことができる	<u>1・37.1</u>	<u>2・30.9</u>	<u>3・27.8</u>	<u>4・4.1</u>
③ 地域の課題の解決方法を考えることができる	<u>1・20.6</u>	<u>2・36.1</u>	<u>3・32.0</u>	<u>4・1.3</u>
④ いろんな講座への参加ができる	<u>1・18.6</u>	<u>2・60.8</u>	<u>3・20.6</u>	<u>4・0.0</u>
⑤ 郷土の歴史・文化の情報を知ることができる	<u>1・23.7</u>	<u>2・52.6</u>	<u>3・22.7</u>	<u>4・1.0</u>
⑥ どの年齢でも利用することができる	<u>1・38.1</u>	<u>2・21.6</u>	<u>3・24.7</u>	<u>4・15.5</u>
⑦ 仲間といろいろな活動ができる	<u>1・20.6</u>	<u>2・47.4</u>	<u>3・27.8</u>	<u>4・4.1</u>
⑧ いろいろな地域の情報を知ることができる	<u>1・22.7</u>	<u>2・42.3</u>	<u>3・35.1</u>	<u>4・0.0</u>
⑨ 初めてでは、利用しづらい	<u>1・51.5</u>	<u>2・16.5</u>	<u>3・30.9</u>	<u>4・1.0</u>
⑩ 講座が高齢者向けであると思う	<u>1・24.7</u>	<u>2・49.5</u>	<u>3・10.3</u>	<u>4・15.5</u>
⑪ 利用者の意見・要望で変わる	<u>1・12.4</u>	<u>2・25.8</u>	<u>3・42.3</u>	<u>4・19.6</u>

■生涯学習に関して、どのように考えていますか。

あなたの考えをご自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。



災害弱者

～障害者のための防災対策～

東日本大震災の時
災害弱者は・・・

△情報を得にくい障害者は
多くが取り残され被害に
あった

◎角力浜集落(津波による
壊滅的な被害)
→津波のハザードマップを
作る他、高台への坂道や、
歩行が困難な人はリヤカー
を用意するなどバリア解消
に力を入れる

人口約110人中犠牲者1名



視覚障害者 ～不安に感じている事とその対策～

△自力での安全確保

移動が困難な為、近隣住民の手助けが必要

△情報の入手

非常持ち出し品として、ラジオ、ICレコーダー
等、耳から情報を入手できる物を常備

視覚障害者 ～今後の課題～

◎制度
地域のコミュニティ整備

近隣の住民と繋がり
を持てる場の確保

◎設備
分かり易いサインの設置

避難ビルから音が出る
等、耳で判断できる
サイン

聴覚障害者 ～静岡県聴覚障害情報センターのマニュアルより～

- 非常持
・補聴器
・筆談用
・ゼッケン
- グッズ
・筆談道



聴覚障害者 ～不安に感じる事、健常者に望むこと～

△情報が遅れる

地域の人の理解
地震、津波の情報があつた時に情報提供

△逃げる事よりも避難所の情報

聴覚障害者は逃げる時よりも
避難所生活の方が不安が大きい。
何かあつた時には手を引っ張ったり、
筆談で良いから教えてほしい。

知的障害者
～不安に感じる事～

※中学生

△一

3日間くらい学校で子供を預
かることができるように準備を
しておいてほしい!!

いち早く子どもの安否確認が
できるようになってほしい!!

●健常

知的障害者
～防災対策グッズ～

○ 防災グッズについて



★防災ワッペン★
「助けてほしい」という支持
を言葉に出しにくい障害者
のためのワッペン。

○ 知的障害の防災のまとめ

防災グッズや対策はもちろん、災害後
の支援などはまだ完全とは言えない。
避難時に私たちが障害を抱えた人た
ちを助けられる余裕をもって逃げれるか
がポイントだと思う。災害時に急に支援
するのは難しいので、普段の生活から私
たちの周りには災害時に支援が必要
な人がいるのか、どんな支援ができるの
かを知っておく必要があると感じた。また、
各自治体も災害が起こってからではな
く、訓練段階からもう少ししっかりと
チェックを行うべきだと思う。

肢体不自由者
～不安に感じる事～

△車

市や公的機関に望むこと

車いすのための災害
マップを作してほしい!

△か

実際の災害時に助けてほしい。

災害弱者を守るために大切な事

地域住民の
支え合い

日頃から障害を理解し、繋が
りあうことが大切である!!

公民館に期待すること

- 防災訓練のさらなる発展
(健常者が障害者の支援を知る・障害者の避難生活体験)
- 支援グッズの準備
- 地域の障害者の把握を率先的に行い、支援に役立てる
- 防災マニュアルがあると良い(例、秋田県)

防災マニュアルの一例

知的障害のある人のために

- ①日頃から服用している薬の処方箋の明細や薬局からの投薬説明文をコピーして、非常持出袋に入れておきます。服用する薬、たとえばオムロンを使用するなどの機自の方法を用いる薬の場合、その旨を防災カードに記載しておきます。
- ②笛やブザーなど自分が助けを求めたり、安全を確認するために必要な物を身につけます。
- ③身の回り品や食べ物に、特別なこだわりを持っている場合は、そのことを周囲の人たちに理解してもらいます。
- ④災害時に支援が必要なことを書いた防災カード(付録を参照)や身元、連絡先などが確認できる名刺などを、常に携帯するか、衣服などに縫いつけておきます。
- ⑤実際に試みるなど、避難場所を覚えておくよう心掛けます。

支援する方々へ

知的障害のある人の中には、症状の悪化を理解出来ずにはぐれまわったり、状況にあわせて行動が出来ない人がいます。うまく避難したり、どのようにしたらいいのかわからなくなってしまう場合があることを理解してください。また、中には治療や投薬が欠かせない人もいますので、障害の状況に応じた支援を行います。